

第6章

おわりに

第1節 シェアリングエコノミーは地域の課題解決に向けた新たな選択肢

第1節 シェアリングエコノミーは地域の課題解決に向けた新たな選択肢

自治体を取り巻く環境が大きく変化し、従来のような方法や水準で公共サービスを維持していくことが難しくなっている。これらの課題の解決のため、自治体には地域住民を含めて限られた財源や人的資源を有効に活用し、最適な手段を選ぶことが求められている。

新しい共助の仕組みとされるシェアリングエコノミーは、決して難しい構造ではなく、国においても自治体における課題解決への活用検討を促すなど、環境整備を進めている。

また、シェアリングエコノミーを自治体課題の解決手段として活用している先進自治体では、最初にシェアリングエコノミーありきではなく、さまざまな手段を検討した結果としてシェアリングエコノミーの活用に至っているところが多い。

多摩・島しょ地域自治体の課題の解決に向けて、新たな解決手段としてシェアリングエコノミーを活用する余地は十分にあり、今後は解決に向けた選択肢の1つとして、検討に値する存在となろう。

本調査研究で提示したシェアリングエコノミーの効果や活用する際に検討するポイント、地域の課題解決に向けた検討手順の例が、それぞれの自治体が、置かれた状況に応じて課題解決や地域活性化に向けて取り組んでいく際の一助になれば幸いである。